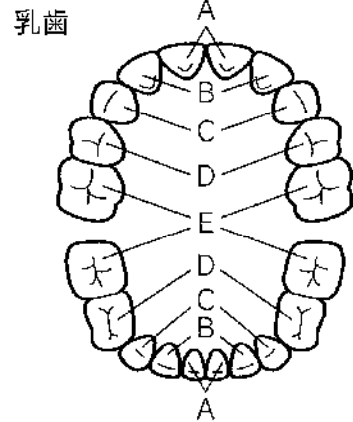


くらべてみましょう 動物の歯と自分の歯

いろいろな動物の歯を見てみると、その動物の食べ物によって歯の大きさや形に違いがあったり、何度も生えかわったりと、おもしろい発見があります。お子さんと一緒に共通点や違いについて、お話ししてみませんか。

人間の歯



生後6か月から8か月頃に、下の乳中切歯(A)が生えてきます。その後、下の乳側切歯(B)と上の乳中切歯(A)が生え、1歳半くらいで第1乳臼歯(D)が、2歳頃までに乳犬歯(C)が生え、2歳半から3歳頃にかけて第2乳臼歯(E)が生えます。

乳歯のうち、よくかむことや歯みがきの大切さを伝えていきましょう。

- A 乳中切歯 — 歯列の一番前にあり、食べ物をかみ切って
- B 乳側切歯 — 口の中に取り込みます。
- C 乳犬歯 — 切歯の後ろにあり、肉などをかみ切ります。
- D 第1乳臼歯 — 食べ物をより細かくかみくだいたり、すりつぶしたりすることができます。
- E 第2乳臼歯

トラ



トラは、大きくてするどいきば(犬歯)を持ち、獲物にかみついてとらえ、奥歯で肉などをナイフのように切って食べます。

ゾウ



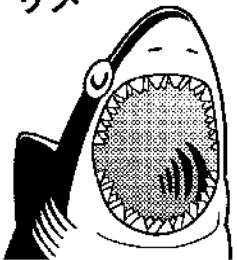
ゾウは、上あごに2本のきば(切歯)があり、生涯、伸び続けます。口の中にある大きな歯で、木の枝や葉をすりつぶして食べます。

リス

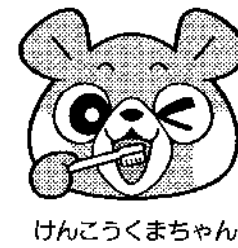


リスは、大きな前歯を持っていて、かたいどんぐりやくるみを、前歯で割って食べます。歯がすり減っても、後からどんどん伸びてきます。

サメ



サメは、たくさんの歯が次々生えかわります。人間の歯には根がありますが、サメにはないので、一生のうち、3万本も生えかわるものもいます。



はみがきカレンダー

たべおわったら まいにち みがこうね
きれいに みがけたら いろを ぬろう!

げつ ようび	あさ	ひる	ゆう
にち			
か ようび	あさ	ひる	ゆう
にち			
すい ようび	あさ	ひる	ゆう
にち			
もく ようび	あさ	ひる	ゆう
にち			
きん ようび	あさ	ひる	ゆう
にち			
ど ようび	あさ	ひる	ゆう
にち			
にち ようび	あさ	ひる	ゆう
にち			



むし歯を予防するためには、幼い頃から歯みがきを習慣づけることが大切です。歯みがきをしたら歯のマークに色をぬって、「上手にできたね」「すごいね」などとほめて、子どもを歯みがき好きにしましょう。